

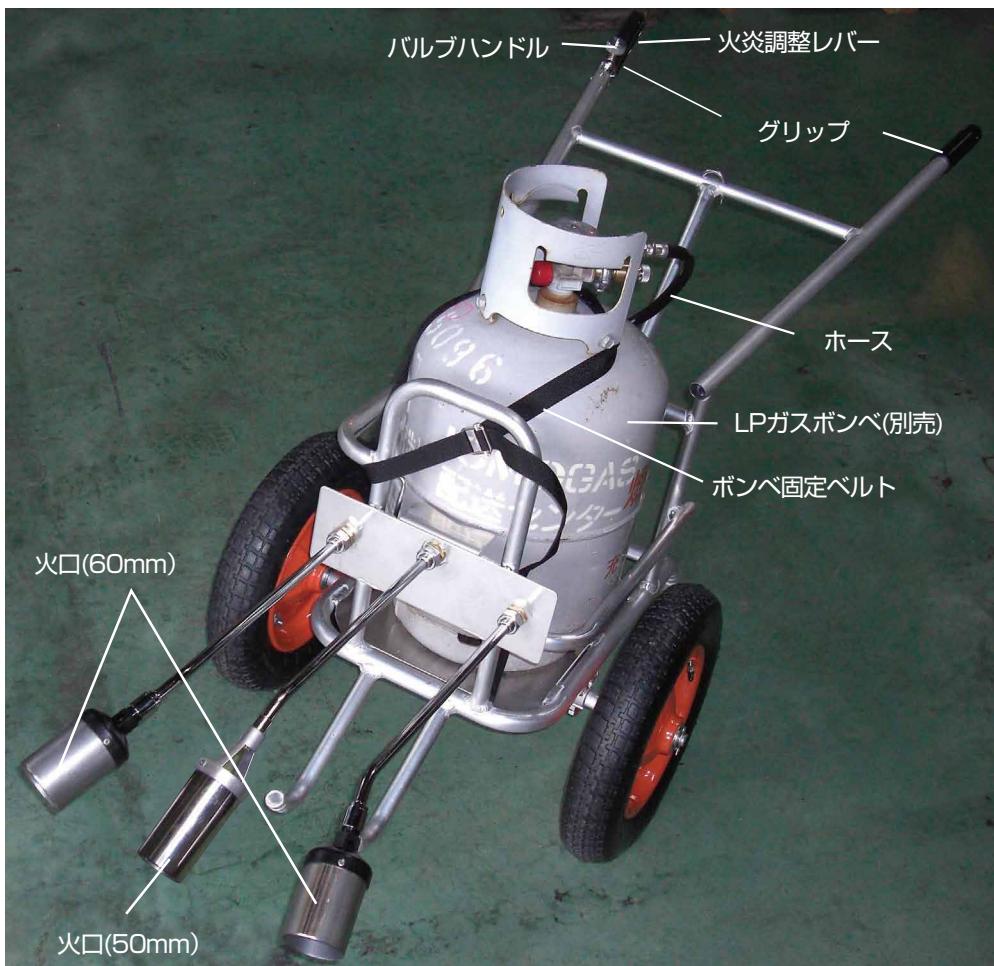
デルタLPバーナーフェニックス PDL-3

取扱説明書

〈生産物賠償責任保険付・保証書付〉

このたびは、「デルタLPバーナーフェニックス」をお買い上げいただき誠にありがとうございました。本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき大切に保管してください。

■各部の名称



■仕様

名 称：デルタLPバーナーフェニックス
品 番：PDL-3
全 長：160cm 幅：60cm
重 量：約17kg(8kgLPガスボンベ搭載時)
火口径：60mm(2個) 50mm(1個)
炎直径：60mm(2個) 50mm(1個)
炎長さ：600mm(2個) 700mm(1個)
発熱量：58.2kW(50,000kcal/h)(2個)
69.8kW(60,000kcal/h)(1個)

炎温度：約1,500°C
使用時間：約40分(8kgLPガスボンベ使用時)
使用燃料：プロパンガス
付属品：LPガスボンベ固定ベルト
火口着脱用スパナ

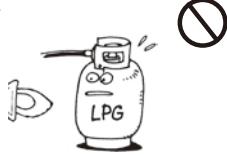
◆特に注意していただきたいこと

イラストの横にある  マークは禁止、  マークは強制を表します。

警告 (取扱いを過った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定されることを示します。)

■使用ボンベについて

- 炎や熱気をLPガスボンベやホースに近づけないでください。



- 燃料はプロパンガス以外のものを絶対に使用しないでください。
- LPガスボンベに強い衝撃を与えないでください。
- LPガスボンベのバルブ口にホースの先端をしっかりと取り付けてください。取り付けが不十分ですとガスもれの原因となります。
- LPガスボンベは必ず直立状態で使用してください。倒した状態で使用すると炎が異常に大きくなりやけどをする危険があります。またLPガスボンベは風通しのよい所に置いてください。
- 通常プロパンガスは無色です。白色のガスが出る時は生ガスが出ているので、点火しないでください。生ガスが出た時は、一度LPガスボンベのバルブを閉じ、プロパンバーナーのバルブハンドルだけを開け、ホース内の生ガスを放出してください。
- LPガスボンベのガスを故意に吸い込まないでください。酸欠による窒息死のおそれがあります。

■ガス事故、やけどの防止について

- 常にガスもれのないよう十分に注意してください。ガスもれに気が付いた場合は絶対に火をつけないでください。



- 作業終了後および、移動の際は必ずLPガスボンベのバルブを閉じてください。
- 着火時および使用中は火口を人体に向けたり、のぞきこんだりしないでください。やけどをするおそれがあります。

- 使用中および使用直後は、火口付近が熱くなっていますので手をふれたり、可燃物を近づけたりしないでください。



注意 (取扱いを過った場合、使用者が障害を負う危険、および物的損害のみが想定されることを示します。)

■火災予防のために

- 換気の十分な場所で使用してください。また、可燃物(家屋、板べい、かやぶき屋根、はめ板など)、火気厳禁の場所からは十分離れて使用してください。

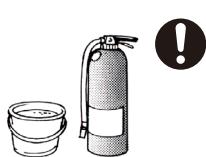
- 引火するおそれのある物の近くでは使用しないでください。



- 火のついたままその場を離れないでください。



- 使用の際は、消火用の水または消火器を必ず用意し、火災には十分注意してください。



- ホースを引っ張ってLPガスボンベを移動させたり、持ち上げたりするなどホースに荷重がかかるような使い方はしないでください。ホースが破れるおそれがあります。

■LPガスボンベの保管等

- 長期間使用しない場合はLPガスボンベは、購入した店舗へ返却してください。
- 一時的に保管する場合は、湿気の少ない、直射日光や雨の当たらない40℃以下の屋内に保管してください。



■子供に注意

- お子様には絶対に使わせないようにしてください。お子様の手の届かない所に保管してください。

■異常時使用禁止

- 万一、異常燃焼を起した場合や緊急の場合はあわてずにバルブハンドルを閉じてください。ホースの破れた所から炎が出た場合は、炎に気をつけてLPガスボンベのバルブを閉じてください。バーナー部が完全に冷めてから、点検、修理を依頼してください。

Shinfuji Burner

製造発売元

新富士バーナー株式会社

〒441-0314

愛知県豊川市御津町御幸浜1号地1-3

TEL0533-75-5000(代) FAX0533-75-5033

<http://www.shinfuji.co.jp/>

MADE IN JAPAN

◆使用方法

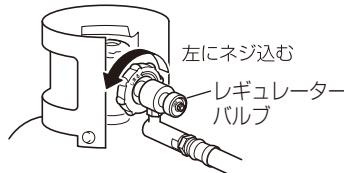
■火口の組付け

- 外径50mmの火口を3本の中央に、外径60mmの火口を両サイドに台車本体に取り付けます。
- 付属のスパナを使ってしっかりと締めます。
※バーナーの角度は用途に応じて取り付けてください。3本の火口からの炎がお互いに当たらない角度にしてください。
- 火口の取り付けの際は、取り付け部内のOリングにキズ、変形、摩耗等がない事を確認してください。キズ、変形、摩耗等がある場合は新しいOリングに交換してください。



■LPガスボンベの取り付け

- LPガスボンベのバルブが閉まっていることを確認します。
- LPガスボンベを台車に乗せ、ボンベ固定ベルトで固定します。
- LPガスボンベのバルブ口を清掃しゴミ、よがれがないことを確認します。
- 台車本体の接続ホースの先端のネジ部分をLPガスボンベのバルブ口にしっかりと接続します。
※ネジは左ネジですからネジ込みの際ご注意ください。
- LPガスボンベのバルブを開きバルブの接続口、ホース等からガスもれのないことを確認します。



レギュレーター バルブについて

接続ホースの先端はレギュレーター バルブが付属しています。使用前に、右方向いっぱいに回してあるか確認してください。左方向に回すことで、ガスの圧力を抑えることができます。

!**警告** ガスもれに注意

常にガスもれのないよう十分に注意してください。ガスもれに気が付いた場合は絶対に火をつけないでください。

■点火

- 台車のグリップ部にあるバルブハンドルを約45度左に回し、3本の火口先端に先の長いライター等で点火します。
- 火炎の小さな「種火」が燃焼する状態にします。
※バルブハンドルを開いたら速やかに点火してください。
※火炎の方向が追い風になるように風向きを考慮して点火してください。



!**注意**

点火時やけどに注意

点火する際、火口の正面から点火すると炎が手にかかり、やけどをするおそれがありますので注意してください。



■使用方法

- 日中は火炎が見えにくいので火炎前方には十分注意してください。
- 燃焼作業は、必ず台車を後方へ進めるように行ってください。前方へ進むと燃焼物の熱で器具の破損又はやけどをするおそれがあります。
- 燃焼する物に火口を向け、台車のグリップ部の火炎調整レバーを引き青色の勢いのある火炎を噴射させます。火炎調整レバーを離すと「種火」に戻ります。
- 火炎調整レバーを引かなくても、バルブハンドルをさらに左に回すと、火炎の勢いが増しそのままの火炎で連続に使用できます。
※長時間連続使用すると、気化熱によりLPガスボンベが冷やされ火力が弱くなりますが異常ではありません。

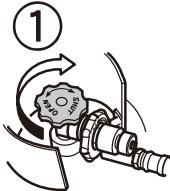


◆使用方法

■消火

1.作業を終了する際は、先にLPガスボンベのバルブを右に回して閉め、ホース内のガスが完全に消えてから、バルブハンドルを閉めて作業を完了します。作業中、一時的に消火する際はバルブハンドルを閉めて消火します。
※長時間使用しない場合はLPガスボンベからホースをはずし、直射日光の当たらない屋内に保管してください

作業を終了する時



①



②

一時的に消火する時



■火力調整時の注意

LPガスボンベ内のガス圧および気温の変化により炎の形状が若干変わることがあります。その場合はバルブハンドルの開閉で調整します。

◆日常の点検・手入れ・保管

■点検・手入れの際の注意

- 日常の点検、手入れは必ず行ってください。
- 点検・手入れはバーナーが冷えてから行ってください。
- 故障または損傷したと思われるものは絶対使用しないでください。
- 点検・手入れの際は、絶対分解しないでください。
- 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処理に困るような場合はお買い求めになった販売店または、当社「お客様係」フリーダイヤル0120-75-5000までご相談ください。

■点検・手入れの方法

●ホースの点検

ホースにひびや破れのないことを点検します。

●各部ネジのゆるみの点検

火口、グリップ、ホース等の接続ネジ、ナットがゆるんでいないか点検します。

●各部破損の点検

グリップの割れ、バルブハンドル等の破損がないか点検します。

◆故障・異常の見分け方と処置方法

現象	着火しにくい	炎が弱くなる	炎が突然消える	消火しない	ガスくさい	処置方法
原因						
ガス圧が高い			○			バルブハンドルでガスの噴出量を調節する
ノズルがつまっている	○	○				点検、修理を依頼する
ガスが少ない	○	○				新しいボンベに取り替える
バルブハンドルの開き過ぎ	○					バルブハンドルでガスの噴出量を少なくする
LPガスボンベが冷えている		○				LPガスボンベを風通しの良い所に30分位放置する
バルブハンドルの故障				○	○	LPガスボンベのバルブを閉じ消火し点検、修理を依頼する
グリップと各部接続ネジの					○	点検、修理を依頼する
ホースのひび、破れ					○	点検、修理を依頼する

◆アフターサービス

アフターサービスを依頼する前に「故障・異常の見分け方と処置方法」を見てもう一度確認してください。確認の上ご不明な場合は、ご自分で修理なさらず、お買い求めになった販売店または当社「お客様係」 0120-75-5000までご相談ください。

デルタLPバーナーフェニックス 保証書

この製品は万全を期していますが正しい使用にもかかわらず万一故障した場合は本保証書に品番、お買上げ年月日、販売店名、ご芳名、ご住所、お電話番号及び症状をお書き添えの上、お買上げの販売店に修理を依頼ください。

製品名 デルタLPバーナーフェニックス	ご芳名
品番 PDL-3	ご住所
保証期間 お買上げ日より1年間	お電話
お買上げ日 年 月 日	()

取扱販売店・住所・電話番号	症状
---------------	----

保証規定

※この保証規定は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

1.保証期間内に、取扱説明書に従った正常なる使用状態において、万一故障した場合には、無料で修理いたします。

2.修理依頼時には、つぎの事項にご注意ください。

・必ず、商品と本保証書をご提示ください。

・保証期間を過ぎた修理依頼も商品と本保証書をご提示ください。

商品と本保証書の提示のない場合は、修理をお断りする場合があります。

・ご贈答品等で本保証書をお買上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、当社「お客様係」 0120-75-5000までご連絡ください。

3.保証期間内でも、つぎの場合は有料修理になります。

・使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。

・お買上げ後の落下、移動、輸送等による故障及び損傷。

・火災、地震、水害、落雷、塩害、弊社指定以外の燃料使用によるもの、その他、天災地変、公害による故障及び損傷。

・保証書の提示がない場合。

・本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。

4.本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

5.本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。